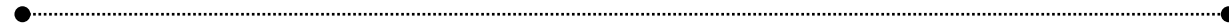


平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青木村地域限定栽培そば“タチアカネ”にやかプロジェクト
事業主体 (連絡先)	青木村 (青木村役場建設産業課商工観光係)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,328,920円 (うち支援金: 2,882,000円)



事業内容

青木村地域限定栽培のそば「タチアカネ」を活用した村の知名度向上と誘客による地域活性化プロジェクトの推進。

このそばの特性ともいえる“食べてよし・見てよし・作ってよし”をいかし、当村を訪れる機会を創出する。

本事業により9月の「タチアカネそばの花・実まつり」11月には村の産業祭とあわせ「タチアカネ新そば祭り」を開催し観光客や交流・体験人口の創出・増加を図った。

また、メディアや銀座NAGANO、長野県名古屋観光情報センターで効果的な宣伝が図れた。



【 タチアカネ新そばまつりの様子 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 打ち手の育成
若い愛好者を増やしそば打ちによる他地域との交流を図りたい。そば打ちイベントでも名が通った埼玉そば打ち倶楽部との交流が図れたことは有意義で継続の中で若い世代の打ち手を取り込みたい。
- ② 他の特産品との相乗効果
当村特産の梅漬け「見返り漬け」や「コンパラジャム」とセットした商品造成やタチアカネの加工商品化を研究。
- ③ タチアカネを活用した青木村の知名度向上 「地域限定栽培」によりマスメディアの取材増

【目標・ねらい】

- ① タチアカネを活用した地域の活性化
- ② 知名度の向上
- ③ 住民参加のそばのおもてなし
- ④ 他の特産品との相乗効果

※自己評価【A】

【理由】

“そば”による交流から知名度が高まり、異業種間連携により地域活性化の気運の醸成が高まった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

加工業者と連携し手打ちそば以外にも、加工品や土産用の半生めんの研究開発。また農家とも協力体制を築き原材料・収量の増産のため、耕作地を増やしたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある